



【学校教育目標】

- 思いやりのある子
- 進んで学ぶ子
- たくましい子

令和 元年11月1日
熊谷市立太田小学校

★やさしく ★まじめに
★なかよく ★みんなで

【明治6年 創立】

信は力なり!

校長 梅澤 修

9月20日の開幕以来、ラグビー日本代表の活躍により日本中がラグビー熱で高まっています。太田小も去る9月29日(日)にジョージア VS ウルグアイの全校観戦を無事に終了しました。子ども達一人一人の心に響くものがあつたらとてもうれしいです。

既にご存知の方も多いかと思いますが、ラグビーワールドカップに触れる中で、印象的な話題に出会いましたので紹介いたします。

9月28日(土)日本 VS アイルランド、試合前にジェイミー・ジョセフ日本代表ヘッドコーチが選手に送った5行の俳句(英文)。

日本語訳すると、「誰も勝つと思つてない。誰も接戦になるとも思つてない。誰も僕らが犠牲にしてきたものは分からない。信じているのは僕たちだけ。」という内容です。

正直、多くの方がアイルランド代表に勝てるとは思つていなかったでしょう。なぜなら、過去の日本 VS アイルランドでは、日本の9戦9敗。ワールドカップ開幕時点で、アイルランドは世界ランク1位だったからです。(2018年11月にニュージーランドに勝利)

しかし、終わってみれば日本代表の勝利。その後も勝ち続け、悲願のベスト8入りを果たしました。準々決勝こそ南アフリカに敗れてしまいましたが、この結果はジェイミー・ジョセフ HC の5行の俳句が物語っています。

RWC ベスト8という目標に向けて、日本代表は年間250日の合宿を行い、世界と戦う準備をしてきました。日本代表レベルの選手でさえ、「できれば二度とやりたくない。」というくらいのハードな練習だったそうです。

RWC を通して日本代表が私達に教えてくれたものは何かと考えたとき、私は次の3点ではないかと思いました。

- ①目標を明確に立て共有すること。
 - ②信念をもって継続、努力すること。
 - ③自分自身を信じ、仲間を信じること。
- なかなかできることではないかもしれませんが、しかし、見習いたい取り組みとして心に留め置きたいです。

《11月の生活目標》

ろう下は静かに
右側を歩きます

【太田小 9月~10月】
タグラグビー教室



RWC・国歌斉唱



ジョージア VS ウルグアイ



アルカスクイーン
熊谷の
皆さんと



3・4年校外学習



1・2年校外学習